

投資事業評価調書(新規)

部課室名	街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 玉田 尋三 (濱 浩二)	内線	4474 (4480)
事業種目	街路	事業名	事業区間	総事業費	約25億円
		都市計画道路 伊丹飛行場線(昆陽西工区)	伊丹市寺本4丁目 ~伊丹市昆陽6丁目	内用地補償費	約18億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
伊丹市寺本4丁目~伊丹市昆陽6丁目			H19年度	H19年度	H24年度
事業目的			事業内容		
<p>本路線は国道171号から伊丹市中心市街地、尼崎港川西線を経て大阪池田線まで接続する阪神間の東西幹線道路である。</p> <p>今回以下の目的から事業を計画する。</p> <p>広域ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 阪神間の東西道路の整備により、地域内の連携・交流を図る。 <p>渋滞の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> 4車線化により、慢性的な渋滞解消を図る。 <p>歩行者・自転車等の安全性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 広幅員の歩道の設置により、歩行者・自転車等の安全性の向上を図る。 			<p>道路改築(拡幅) L=550m</p> <p>現況:2車線 歩道有り W=5.5(10.1)</p> <p>計画:4車線+3.0m 両側歩道 W=13.0(20.0)</p> <p>昭和22年都市計画決定</p> <p>交通量</p> <p>自動車</p> <p>現況 : 15,311台/日(H17年実測)</p> <p>計画 : 28,800台/日(H42年推計)</p> <p>歩行者現況: 132人/12h(H17年実測)</p> <p>自転車現況: 917台/12h(H17年実測)</p> <p>〔負担割合 国0.55、県0.225、市0.225〕</p> <p>混雑度;1.3</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 東西の主要幹線道路であるが、現道は2車線であり、また歩道も狭小であるため、人身事故が多発している。(過去5年平均の死傷者数8人、死傷事故率221人/億台km)また、通学路にも指定されており、歩道の整備により安全性の向上を図ることができる。 早期に整備を行うことにより、災害時においては市役所等のシビックゾーンへの避難路としての機能を発揮できる。 				
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 国道171号と伊丹市中心市街地、尼崎港川西線及び大阪池田線へ接続することにより地域間の連絡を強化できるとともに、伊丹市の中央部の都市軸を形成することにより、地域の活性化を図ることができる。 				
快適性、ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 両側歩道(幅員3.0m)を設置し、セミフラットとすることにより児童、高齢者及・障害者等に配慮している。 				
その他	<ul style="list-style-type: none"> 伊丹市の街路整備プログラムに前期(H19年度まで)着手路線に位置づけられ、広報誌により公表されている。 				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用便益比B/C=5.2 本工区に隣接する昆陽東工区とあわせて本工区を整備することにより、全線完成し伊丹市域の交通環境の改善を図ることができる。 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 車道は低騒音舗装、歩道は高木植樹と透水性舗装を行い、沿道環境の改善を図ることができる。 電線共同溝の整備により都市景観の向上を図ることができる。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 本路線及び周辺路線の慢性的な渋滞解消を図るには当該工区の4車線化が必要不可欠であるため、早急に事業着手する必要がある。 伊丹飛行場線は全延長5.1kmのうち、3.7kmは完成、0.85kmが事業中であり、H20年度完成予定である。未着手である本工区0.55kmをH19年度より事業着手し、H24年度の全線完成を図ることができる。 				